

事務連絡  
令和8年2月4日

地方農政局生産部園芸特産課  
内閣府沖縄総合事務局農林水産部生産振興課  
北海道農政部生産振興局農産振興課  
果樹関係業務 御担当者 様

農産局果樹・茶グループ果樹振興班

産地計画の策定意向、果樹産地の状況等に係る情報収集について

今後の果樹施策の推進に資するため、「果樹産地構造改革計画について」（平成17年3月25日付け16生産第8112号農林水産省生産局長通知）に基づく果樹産地構造改革計画の策定の意向及び果樹産地の状況等の情報を収集したく、別添要領により御協力をお願いいたします。

## 産地計画の策定意向、果樹産地の状況等に係る情報収集実施要領

## 1 目的

果樹農業の振興にあたっては、産地自らが産地の特性や意向を踏まえ、目指すべき産地の姿を定めた果樹産地構造改革計画（以下「産地計画」という。）を策定し、産地計画に基づく取組を着実に実行することが重要です。

本情報収集は、産地計画の策定・変更意向及び果樹産地の状況等を把握し、今後の果樹振興策や果樹産地の構造改革の推進等に資することを目的として実施します。

## 2 情報収集の概要

**産地計画の策定意向**

## (1) 情報収集時点

令和8年3月時点

## (2) 提出期日

令和8年3月13日（金）まで

## (3) 提出様式

別添様式（Excel ファイル）

※C～P列を入力して提出すること。

## (4) 提出先及び提出方法

各地方農政局等は管内都府県からの提出ファイルを取りまとめの上、また、北海道にあつては直接、農産局果樹・茶グループ果樹振興班あてに電子メールにて提出をお願いします。

## (5) 入力要領

## 【C～O列】

- ・ 昨年度実施した産地計画の策定状況等の情報収集でいただいた内容を反映しますので、情報収集時点（令和8年3月）の内容に更新をお願いします。
- ・ 前年度からの変更箇所は赤字溶け込みで記載の上、セルを黄色に着色してください。
- ・ 産地計画ごとに行を分けて整理していますので、新規の産地計画がある場合は、行を追加の上、行全体を黄色に着色してください。また、廃止した産地計画がある場合は、行全体に取り消し線を入れた上で灰色に着色してください。
- ・ 様式の各項目の詳細は次のとおりです。
  - ① 農政局等（A列） ※入力不要
  - ② 番号（B列） ※入力不要
  - ③ 都道府県（C列）
  - ④ 協議会名（D列）

産地協議会の名称を入力してください。

産地協議会の設置を検討中の産地にあつては、他の産地との区別が可能な産地名を入力の上、末尾に「（仮称）」と記入してください。

⑤ 協議会事務局（E列）

組織、部署名等を入力してください。

⑥ 協議会の構成（F列）

産地協議会の構成組織を入力してください。

⑦ 対象地域（G、H列）

産地計画の対象とする地域を市町村単位とした場合や、農協単位とした場合について、それぞれを入力してください。

「市町村」欄の入力方法については、次の点に留意してください。

○対象となる市区町村は全て入力すること。

○市区町村内の一部を対象としている場合は、「〇〇市の一部」と入力すること。

⑧ 産地協議会設立年月日（I列）

産地協議会の設立年月日を半角・和暦で入力してください。

（例）H27.5.1

⑨ 対象品目（J列）

産地計画に明確に位置づけられた品目をすべて入力してください。

⑩ 産地計画\_策定状況（K列）

産地計画を策定している場合は「○」を入力し、未策定の場合は「－」を入力してください。

⑪ 産地計画\_策定年度（L列）

現行の産地計画の策定年度を半角・和暦で入力してください。

（例）R3

⑫ 産地計画\_目標年度（M列）

現行の産地計画の目標年度を半角・和暦で入力してください。

（例）R7

⑬ 産地計画\_最終変更・改定日（N・O列）

現行の産地計画の変更・改定を行った年月日を半角・和暦で入力してください。策定以来、変更・改定を行っていない場合は策定日を記入してください。

（例）R7.5.1

【P列】

⑭ 産地計画\_策定（変更・改定）予定時期

情報収集時点（令和8年3月）における産地計画の策定（変更・改定）予定時期を半角・和暦で入力してください。

（例）R8.5

## (6) 留意事項

様式の下記項目については、農林水産省のホームページにて公表を予定しています。

- ・ 都道府県名
- ・ 協議会名
- ・ 協議会事務局
- ・ 対象地域（市町村、農協）
- ・ 対象品目

## 果樹産地の状況

### (1) 情報収集時点

令和8年3月末日時点（令和7年度の状況を記載）

### (2) 提出期日

令和8年6月30日（火）まで

### (3) 提出様式

別添様式（Excel ファイル）

※Q～DX列を入力して提出すること。

### (4) 提出先及び提出方法

各地方農政局等は管内都府県からの提出ファイルを取りまとめの上、また、北海道にあつては直接、農産局果樹・茶グループ果樹振興班あてに電子メールにて提出をお願いします。

### (5) 入力要領

- ・ 様式の各項目の詳細は次のとおりです。

#### ⑮ 産地の状況（Q列）

令和7年度の産地の状況について、令和6年度の現時点と比較して自己評価し、以下の選択肢から該当する数字を入力してください。

<選択肢>

産地の持続的な発展に向けて、

- 1：良い方向に進んでいる
- 2：さほど変わらない
- 3：悪い方向に進んでいる

#### ⑯ 生産量（R～AI列）

品目ごとの生産量をトン単位（小数点第1位まで入力し、単位未満は四捨五入）で入力し、栽培を行っていない品目は「-」を入力してください。

※「ぶどう・ぶどう（醸造用）」、「なし（日本なし）・なし（西洋なし）」を区別していない場合は、「ぶどう」または「なし（日本なし）」に合算した数値を入力し、「ぶどう（醸造用）」または「なし（西洋なし）」に「0」を入力してください。

※合計（R列）は入力不要（自動入力）

⑰ 栽培面積（AJ～BA 列）

品目ごとの栽培面積を ha 単位（小数点第 1 位まで入力し、単位未満は四捨五入）で入力し、栽培を行っていない品目は「－」を入力してください。

※「ぶどう・ぶどう（醸造用）」、「なし（日本なし）・なし（西洋なし）」は⑯と同様に入力してください。

※合計（AJ 列）は入力不要（自動入力）

⑱ 省力樹形の導入面積、栽培方法名（BB～CH 列）

品目ごとの産地計画に位置付けた省力樹形の導入面積を ha 単位（小数点第 1 位まで入力し、単位未満は四捨五入）で入力し、具体的な栽培方法名（省力樹形）（例：トールスピンドル、新わい化等）を入力してください。栽培を行っていない品目は「－」を入力してください。

なお、省力樹形は、以下のアを満たし、かつイ又はウを満たすものとします。

ア 未収益となる期間の短縮が期待できること

イ 10 アール当たりの労働時間について、慣行栽培と比較して 10%以上縮減できることが、試験研究結果又は事例で確認できる樹形であること

ウ 10 アール当たり収量について、慣行栽培と比較して 10%以上増加できることが、試験研究結果又は事例で確認できる樹形であること

※「ぶどう・ぶどう（醸造用）」、「なし（日本なし）・なし（西洋なし）」は⑯と同様に入力してください。

※合計（BB 列）は入力不要（自動入力）

⑲ 省力的な植栽方法の導入面積、栽培方法名（CI～D0 列）

品目ごとの産地計画に位置付けた省力的な植栽方法の導入面積を ha 単位（小数点第 1 位まで入力し、単位未満は四捨五入）で入力し、具体的な栽培方法名（省力的な植栽方法）（例：半密植、整列的な配置等）を入力してください。栽培を行っていない品目は「－」を入力してください。

なお、省力的な植栽方法は、以下のア～ウのいずれかを満たすものとします。

ア 未収益となる期間の短縮が期待できること

イ 10 アール当たりの労働時間について、慣行栽培と比較して 10%以上縮減できることが、試験研究結果又は事例で確認できる樹形であること

ウ 10 アール当たり収量について、慣行栽培と比較して 10%以上増加できることが、試験研究結果又は事例で確認できる樹形であること

※「ぶどう・ぶどう（醸造用）」、「なし（日本なし）・なし（西洋なし）」は⑯と同様に入力してください。

※合計（CI 列）は入力不要（自動入力）

⑳ 高温に対応した技術的対策（DP 列）

高温の影響を減少させるために実施する技術的対策について、産地の生産者の

取組状況を以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

<選択肢>

高温に対応した技術的対策について、産地の担い手の

1 : 8割程度が取り組んでいる（ほとんどが取り組んでいる）

2 : 5割程度が取り組んでいる（半分程度が取り組んでいる）

3 : 2割程度が取り組んでいる（ほとんど取り組んでいない）

⑳ 新たな担い手の育成・確保に向けた取組（DQ、DR列）

新たな担い手の育成・確保に向けた取組の内容について、以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

<選択肢>

令和6年度の3月末日時点と比較して、産地の新規就農者数が

1 : 11人以上増加している

2 : 1～10人増加している

3 : 増加していない

<選択肢>

産地への就農希望者に対して、

1 : 技術研修と研修園地の継承に取り組んでいる

2 : 技術研修と経営開始時の園地斡旋に取り組んでいる

3 : 技術研修又は園地斡旋のいずれかに取り組んでいる

4 : 上記1～3のいずれにも取り組んでいない

㉑ 労働力不足への対応に向けた取組（DS列）

労働力不足への対応に向けた取組内容について、以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

<選択肢>

労働力不足に対応するため、産地として

1 : 人材斡旋又は作業受託を行うサービス事業体を活用している

2 : サービス事業体は活用していないが、その他手段により労働力不足への対応に取り組んでいる

3 : 上記1、2のいずれにも取り組んでいない

㉒ 大規模経営体の参入に向けた取組（DT列）

大規模経営体の参入に向けた取組の進捗状況について、以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

なお、大規模経営体の定義は、「現在又は将来的に、スマート農業技術や雇用労働力を活用した大規模かつ効率的な果樹経営を展開する法人経営体」とします。

<選択肢>

大規模経営体の参入に向けて、

1 : 相談窓口の設置など環境整備等に取り組んでいる

2：相談窓口の設置など環境整備等の取組を検討している

3：検討していない

②④ 国内需要への対応（DU 列）

国内需要に対応するための取組の状況について、以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

<選択肢>

加工原材料用果実について、

1：一部経営体又は産地として専用園地で生産している

2：一部経営体又は産地として専用園地で生産を検討している

3：専用園地での生産を検討していない

②⑤ 輸出（DV 列）

輸出の取組状況について、以下の選択肢から選んで該当する数字を入力してください。

<選択肢>

輸出について、

1：一部経営体又は産地として取り組んでいる

2：一部経営体又は産地として輸出を検討している

3：輸出を検討していない

②⑥ 集出荷・流通対策（DW、DX 列）

産地における選果場の数と、そのうち AI を導入した選果場の数を入力してください。

（6）留意事項

収集した情報は、取りまとめの上、農林水産省の公表資料等での公表を予定しています。（個別の産地協議会が特定される形では公表しません。）